

東京都歴史教育研究会 令和6年度 春季史跡見学会 見どころ案内

※ゴシック体は『日本史用語集』（山川出版）所収の用語

午前(内藤新宿めぐり前半、新宿歴史博物館見学)

四ツ谷駅赤坂口広場集合(最寄り：東京メトロ赤坂方面改札・JR四ツ谷駅)→四谷見附橋
→四谷門枳形石垣→コモレ四谷(四谷塩町町屋発掘地)→西念寺→愛染院→須賀神社
→於岩稲荷田宮神社→高須松平家屋敷跡(荒木町)→新宿歴史博物館(見学)

午後(内藤新宿めぐり後半、新宿発展史・大衆史めぐり)

消防博物館集合(見学自由・入館料無料)→四谷大木戸跡・水道碑記
→玉川上水跡(内藤新宿分水散歩道)・新宿御苑→太宗寺→成覚寺→新宿追分→伊勢丹
→天龍寺→御大典広場跡(新宿東南口)・長野屋→新宿貨物駅跡→ムーランルージュ跡
→武蔵野館跡→中村屋→新宿高野→旧三越新宿(現ビックカメラ新宿東口店)→紀伊國屋
→四季の道→花園神社→歌舞伎町→新宿西口商店街→柏木公園(最寄り：新宿駅)

午前＝内藤新宿めぐり前半、博物館見学

四谷見附橋

…1913(大正2)年に築かれた都内最古の陸橋。隣接する東宮御所(現**迎賓館赤坂離宮**)に合わせてネオバロック様式で築かれた。現在の橋は平成初期の街路整備計画で築かれた二代目であるが高欄・橋灯などの一部は当時のものが使われている。なお、初代の橋は八王子の永池公園に移設されている。

四谷門枳形石垣

…江戸城四谷門の石垣で寛永年間に萩藩毛利家によって作られたもの。JR四ツ谷駅改修工事で下段部が出土し、四谷見附橋から石垣のほかにも裏込め部分を見ることができる。寛永年間の江戸城外堀築造にともない寺社の移転が行われ、甲州街道沿いの寺社は寛永年間中に現地に移転したものが多い。

コモレ四谷(四谷塩町町屋発掘地)

…江戸時代には四谷塩町が所在した場所で、多機能施設コモレ四谷建設などの再開発の際に発掘調査が行われ、四谷塩町の遺構がそっくり出てきて、開発は長期化したという。同地は、人別帳や地主名が分かる沽券絵図等が残っており、発掘調査と文献資料により、江戸時代当時の具体的姿が見える場所である。コモレ四谷そばには玉川上水をモチーフとした小川が流れている。

西念寺

…徳川氏江戸入府にともない服部半蔵正成が麴町清水谷に庵を作り、没後同庵に葬られ、この庵がもととなり創建された浄土宗寺院。山号の専称山や西念寺の寺号は、服部正成の法名・専称院殿安譽西念大禅定門に由来する。現地には寛永年間に移設される。四ツ谷駅を東には半蔵門があり、西は伊賀組が配され、かつては伊賀町と呼ばれていた。新宿歴史博物館が所在する四谷三栄町は、北伊賀町・箆筥町・新堀江町の三町が合併したことに由来する。服部正成墓(宝篋印塔)や松平信康供養塔等が存在。

愛染院

…新義真言宗の寺院。元は麻布にあり、寛永年間に同地に移転。内藤新宿開発を幕府に請願し、その後新宿の名主も務めた浅草商人高松喜六の墓があり、墓碑には「内藤新宿開発人高松金八友常」と刻まれている。そのほか**塙保己一**の墓もあり。

須賀神社

…四谷総鎮守として慕われ、『江戸名所図会』では「四谷牛頭天王社」として記載。旧社格では郷社。千種有功の書と四谷に居を構えていた画家大岡雲峰の画の三十六歌仙図が奉納され社殿に飾られている。映画『君の名は』のキービジュアルに登場する階段は、同社につながる男坂階段が舞台。社号標の書は**平沼騏一郎**の書による。平沼騏一郎は新宿歌舞伎町に邸宅を構えていた。

於岩稲荷田宮神社

…四谷左門町にあり、『東海道四谷怪談』で四谷左門町の浪人民谷(田宮)伊右衛門により殺められた妻のお岩を祀る神社。隣接する日蓮宗寺院陽雲寺には、お岩ゆかりとする井戸もある。創作落語『四谷怪談』のほか『牡丹燈籠』などで知られる三遊亭圓朝の旧宅は、四谷に隣接する新宿1丁目にある。

高須松平家屋敷跡(荒木町)

…高須松平家の屋敷跡があり、同町に隣接する津の守坂の名は、高須松平家初代の松平撰津守義行(尾張藩徳川光友の子)に由来する。高須松平家から会津松平家に入った**松平容保**も同地で誕生。同家屋敷にあった池が規模を縮小し、現存。

新宿区立新宿歴史博物館

…1989(平成元)年に開設された新宿の歴史を扱う博物館。津の守坂に近くにある。入口には四谷見附橋高欄があり、館内には、内藤新宿の発掘出土品、玉川上水板樋、人別書上控、内藤新宿模型、江戸時代の商家や昭和期の文化住宅の復元家屋、紀伊国屋書店社長田辺茂一に関わる文士の寄せ書き屏風など、新宿史を見通せる展示となっている。

午後＝内藤新宿めぐり後半、新宿発展史・大衆文化史めぐり

四谷大木戸跡・水道碑記

…内藤新宿の大木戸であり、ここまで玉川上水が開渠として流れ、この先を暗渠とし流れ、水番所も置かれていた。記念碑は発掘された玉川上水石樋が利用されている。篆額は**徳川家達**の書による。

新宿御苑(玉川上水・内藤新宿分水散歩道、玉藻池、御休所)

…江戸時代は高遠藩内藤家の屋敷地であり、明治政府に接収され、**宮内省**管理の新宿植物御苑となり、戦後に一般公開され、現在は環境省の管理となっている。御苑内の玉藻池は内藤家屋敷内の池であり、玉川上水から取水されていた。御苑の甲州街道側の散歩道は、玉川上水の流れに沿い当時を偲ぶ形で作られたもの。そのほか、1896(明治29)年に作られた旧洋館御休所(重要文化財)などがある。

太宗寺

…寛文年間創建の浄土宗寺院。高遠藩内藤家の菩提寺。高遠藩内藤家4代目内藤正勝(藩主としては阿波勝山藩主)の墓、閻魔像・奪衣婆像、江戸六地藏の一つである地藏像がある。

成覚寺

…文禄年間創建の浄土宗寺院で、内藤新宿の遊女の投げ込み寺でもあり、供養塔が残されている。戯作者**恋川春町**、明治改暦を建議した暦学者塚本明毅の墓がある。

新宿追分

…内藤新宿の西端で甲州街道と青梅街道の分岐点。現在は地面にレリーフが刻まれている。

伊勢丹

…1986(明治19)年に神田にできた伊勢屋丹治呉服店が起源であり、1933(昭和8)年に新宿店が開業。新宿伊勢丹は1933(昭和8)年に建設。外装はアールデコ様式で、東京都の歴史的建造物に指定されている。**関東大震災**後の新宿の開発や太平洋戦争後の復興期に百貨店として重要な役割を果たした。

天龍寺

…徳川家康側室西郷局の父戸塚忠春の菩提寺の遠江国法泉寺を前身とする曹洞宗寺院で、西郷局が**徳川秀忠**の母である縁から江戸に移転し、法泉寺近くを流れる天竜川に由来し寺号を改めた。江戸三名鐘とされる時の鐘があり、現在の梵鐘は明和年間に鑄造されたもの。

新宿貨物駅跡

…大正から昭和にかけての人口増や商業の発展により新宿の鉄道網が拡大し、現在の新宿駅南口近辺に新宿貨物駅が作られた物資輸送の一翼を担ったが、昭和末に貨物駅は廃止。現在はタカシマヤタイムズスクエアが開業し、通り沿いの電柱に貨物と記されたプレートがあり名残を残す

御大典広場跡(新宿東南口前)・長野屋

…**昭和天皇**即位を記念する御大典記念碑があったことに由来する広場(現在、記念碑は西新宿の十二社熊野神社に移設)。長野屋は 1915(大正4)年に作られた老舗食堂で場所を変えず営まれている。このほか、戦後は闇市に由来する不法占拠店舗や露店なども並んでいた。

ムーランルージュ新宿座跡

…1931(昭和6)年に創業した大衆劇場。関東大震災後の人口流入などを背景に活況を見せ、多くの文化人に親しまれたが、戦災やその他娯楽におされ 1951(昭和26)年に閉館した。

武蔵野館跡

…1920(大正9)年に創業した映画館。当初は徳川無声らが弁士を務めていたが、トーキー映画が主流となり、他館へ移った。戦後、改装を重ね現在に至る。

中村屋

…1901(明治34)年に相馬愛蔵・相馬黒光が本郷東大前で創立。1909(明治42)年に現地に移転。1915(大正4)年に**頭山満**の依頼によりインド独立運動家のラス・ビハリ・ボースをかくまうことになり、相馬夫妻の娘がボースと結婚。ボースの助言で大正期にカーライスを販売。そのほか、**孫文**や中村彝・**荻原守衛**・中村不折といった美術家、ロシア人文学者エロシェンコ等も支援。中村屋の文字は中村不折によるもの。ボルシチはエロシェンコの助言による。

新宿高野

…1885(明治18)年創業。1900(明治33)年に果実類販売を本業とし、1921(大正10)年にフルーツパーラーの前身の縁台サービスを開始。中村屋・紀伊国屋と並び、新宿三大老舗とされる。

旧三越新宿(現ビックカメラ新宿東口店)

…1930(昭和5)年に**三越**新宿店が開店し、現在はビックカメラとなっており、外装は変更されたが、当時のビルのまま使用されている。伊勢丹と同様に内装の一部に大理石が使用され、アンモナイトなど化石を見ることができる。

紀伊国屋

…1927(昭和2)年創業の老舗書店。社名は創業者の田辺茂一の先祖が紀伊徳川家に仕えたことに由来。創業者田辺茂一は多くの文化人との交流でも知られ、紀伊国屋本店では演劇や寄席なども行っている。元の店舗は戦災で焼失したが、ル・コルビジエに師事した建築家の前川國男の設計のもと、1964(昭和39)年に現在のビルが作られ、平成になり東京都選定歴史的建造物に指定された。

新宿遊歩道公園・四季の道

…新宿ゴールデン街に隣接する同地は、東京市電角筈線の線路が新宿から飯田橋方面へ伸びており、戦後は都電の大久保車庫への回送線として使われていたが廃線となり、現在は敷地の一部を利用し遊歩道公園となっている。

花園神社

…徳川氏江戸入府には存在し、内藤新宿開宿以来、新宿総鎮守として鎮座する神社。元は別の場所だったが、尾張藩下屋敷の一部である現地に遷座し、そこが花園であったため花園稲荷とよばれるようになった。摂社の芸能浅間神社は、芸能人の参拝で有名。社号標は、海軍大将加藤寛治の書による。

歌舞伎町

…日本三大歓楽街の一つ。戦前は鴨場や東京府立第五高等女学校が存在し、現在の新宿区役所北側には**岡田啓介**、新宿グランベルホテルには**平沼騏一郎**が居を構えた。戦後焼け野原となり、復興のために歌舞伎場建設が企画され、建設実現こそかなわなかったが、名称に歌舞伎の名が残る。

新宿西口商店街

…新宿西口と旧青梅街道の間に位置する飲食店街で、戦後の焼け野原に作られた闇市をルーツとする。**高度経済成長期**からバブル経済期まで繁栄するも、一時衰退。現在は昭和レトロの雰囲気は注目を集め、観光スポット化している。

近隣のその他史跡

西応寺

…真宗大谷派の寺院。もとは麹町にあったが寛永年間に現地に移転。山号の松雲山は、寺伝によると**徳川家康**が同寺を訪れた際、松に暮雲がたなびいていたことにより家康が名付けたとする。1712(正徳2)年の梵鐘があり、新宿区内の寺院では多くが**太平洋戦争**中の金属供出で失われているため貴重。幕末から明治にかけての剣客榊原健吉の墓もある。

本性寺

…日蓮宗寺院。寛文年間の創建。同時内にある北向毘沙門堂に毘沙門天像が安置されているが、寺伝によると、同像は太田道灌時代から江戸城にあり、**徳川綱吉**時代に本性寺に移されたものとされる。塙保己一の師の国学者萩原宗固の墓もある。

多武峯内藤神社

…内藤新宿の名前の由来となっている高遠藩内藤家の屋敷神がもともとなった神社。祭神は**藤原鎌足**であり、内藤家が藤原氏(**藤原秀郷**流)とすることによって由来する。明治時代に内藤家屋敷地が明治政府に接収されたため現在地に移転。

鉛筆の碑(三菱鉛筆発祥の地記念碑)

…三菱鉛筆の基礎となる眞崎鉛筆製造所が 1887(明治 20)年に東京都四谷区内藤新宿 1 番地に建てられていたことを記念碑。多武峯内藤神社に隣接する内藤児童遊園に所在。

正受院

…文禄年間創建の浄土宗寺院。**松平容保**(四谷の高須松平家屋敷で誕生)が葬られた寺であるが、墓は会津若松に移設されたため現存せず。宝永年間鑄造の梵鐘があるが、戦争中の金属供出でなくなったと思われたが、戦後にアメリカのアイオワ州立大学で発見され、1962(昭和 37)年に返還され、今に至る。

常圓寺

…創建年是不詳だが、天正年間に現在地に移転されたとされる日蓮宗寺院。本堂には**徳川光圀**寄進とされる三宝諸尊が安置。東京駅などを設計した**辰野金吾**の墓がある。そのほか、便々館湖鯉鮒の狂歌が刻まれた文政年間の歌碑があり、碑文は**太田南畝**によるものである。